

第1回理事会・第1回評議員会 議決

令和4年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
（1）福祉用具情報システム（T A I S）事業	1
（2）福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
（3）補装具製作者情報システム事業	2
（4）義肢装具等完成用部品情報システム事業	2
（5）自助具の製作支援等情報提供事業	3
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	3
（1）福祉用具プランナー養成事業	3
（2）可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	4
（3）リフトリーダー養成事業	5
（4）車椅子姿勢保持基礎講習会	6
（5）認定補聴器技能者の養成	6
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	9
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	9
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	12
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	12
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	13
8. その他	13
（1）福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」 としての役割を果たすための連携・支援	13
（2）広報活動	13
（3）海外調査の企画支援	14
（4）福祉用具の規格化	14
II. 理事会・評議員会の開催状況	15
III. 評議員・役員の異動	17
IV. 賛助会員の現況	18
V. 委員会等の開催状況	19

I. 事業実施結果の概要

概 況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当協会の職員や研修受講者などの一部が感染する事態になり、厳しい状況となったが、政府や東京都の基本方針を踏まえた感染防止に努めるとともに、業務への影響を最小限にとどめるように取り組んだ。

令和4年度の事業の実施に当たっては、安全で有用な福祉用具や介護ロボット・補聴器等の普及、適切な利活用システムの構築を支援し、社会ニーズに合致した事業を着実に展開するため、以下の事業に取り組み、概ね事業計画で計画した目標を達成することができた。

1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

（1）福祉用具情報システム（T A I S）事業

高齢者・障害者の適切な福祉用具の選定と効果的な利用を促進するため、国内の福祉用具メーカー又は輸入事業者から「企業」及び「福祉用具」に関する詳細情報を収集し、協会ホームページを通じて、全国の市区町村をはじめ、福祉用具貸与事業者、介護施設・事業所のほか、介護支援専門員や家族介護者等に対して情報発信した。

令和4年度は、ホームページのデザインを一新するとともに、ワイド画面に対応するサイズに変更した。また、検索システムの利便性向上を図るため、福祉用具の利用シーンや利用場面等からも検索できるよう機能等を拡充した。

《 令和5年3月末現在 情報総数 》

企 業 情 報	7 9 7 社
用 具 情 報	1 5 , 8 0 8 点

■福祉用具情報の分類別件数

大 分 類 項 目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	988	6.3
06	義肢・装具	17	0.1
09	パーソナルケア関連用具	1,409	8.9
12	移動機器	6,488	41.0
15	家事用具	22	0.1
18	家具・建具・建築設備	6,012	38.0
21	コミュニケーション関連用具	783	4.9
24	操作用具	23	0.2
27	環境改善機器・操作用具	47	0.3
30	レクリエーション用具	2	0.1
89	その他の用具	17	0.1
合 計		15,808	100.0

■介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸 与	12,388点
購 入	1,357点
計	13,745点

■登録件数の推移

事業年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企業情報件数 (対前年度増減)	808 (20)	814 (6)	815 (1)	811 (△4)	797 (△14)
用具情報件数 (対前年度増減)	13,063 (925)	13,696 (633)	14,612 (916)	15,270 (658)	15,808 (538)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

協会ホームページを通じて、障害者や介護者等からの福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の詳細情報を収集し、全国の福祉用具メーカーや開発・研究者等へ提供した。障害者や高齢者等が真に必要とする福祉用具についての生の声に触れることにより、ニーズを的確に捉えた実用的な福祉用具の研究開発を推進した。

なお、本システムでは、メーカーや開発研究者から新しい製品や技術を投稿したり、障害福祉の関係者や行政関係者等が自由に投稿できるお知らせ(掲示版)機能を設けている。

令和5年3月末現在 投稿件数 962件

(3) 補装具製作者情報システム事業

障害者や市町村等の担当者が適切な補装具を選定できるようにするため、義肢製作所の所在地や取扱い種目、義肢装具士等の情報を協会ホームページから情報発信している。

《 令和5年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	242製作所
-------	--------

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく「義肢・装具及び座位保持装置の完成用部品」について、障害者の身体状況や使用環境に適合した適切な部品が選定・処方されるよう、当該部品の対象者とその効果、さらには適応範囲や調整方法等に関する詳細情報を収集し、協会ホームページから情報発信している。

本システムは、主に全国の市町村や更生相談所等において利用されているところであるが、近年スマートフォンやタブレットから閲覧されるケースが多いことから、令和4年度はスマー

トフォン等でもきれいに見られる専用画面を構築した。

《 令和 5 年 3 月末現在 情報総数 》

企業情報	76社
部品情報	3,455点
(内 訳)	
殻構造義肢	701点
骨格構造義肢	1,259点
装具	647点
座位保持装置	848点

(5) 自助具の製作支援等情報提供事業

障害者の自立を支援するものとして、個別のニーズに応じて製作される自助具について、特定非営利活動法人「自助具の部屋」と連携して、自助具製作に有用な材料や工作法等に関する詳細情報を収集し、全国の自助具工房及びリハビリテーションセンター等へ情報提供した。

令和 5 年 3 月末現在 登録数 既製品 98 件 製作事例 154 件

2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、
資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業 2）

(1) 福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の選定や使用方法等に関する専門的な知識を有し、福祉用具が適切に利活用できるように支援する役割を担う福祉用具プランナー認定講習を実施した。

当初計画したプランナーと管理指導者との区分されている養成体系を、対象者の多様性や職場の業務態様に応じたプランナーを養成することの検討については、管理指導者資格取得者から講師となる人材も出始めているところ、当面は現在の養成体系を継続しつつ、必要に応じて今後検討することとした。

（認定者累計 15,569 名）

なお、福祉用具プランナーのさらなる質の向上を図り、福祉用具プランナー認定講習等の指導者（講師）養成、福祉用具貸与事業者等の管理職養成を目的に、福祉用具プランナーの上級資格である「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」の実施については、受講希望者からの要望を受けて、単年度で資格取得が可能となるよう 4 コースを単年度で実施した。

（認定者累計 148 名）

① 福祉用具プランナー認定講習

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 29名

2) 他団体実施（テクノエイド協会主催）

a) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、富山、愛知、大分
- ・修了者 55名

b) 関係団体

- ・開催地 宮城、東京、神奈川、滋賀、大阪
- ・修了者 153名

3) 教育機関実施（新潟医療福祉大学、西武学園医学技術専門学校、日本福祉大学、
神戸医療福祉専門学校）

- ・開催地 新潟、東京、愛知、兵庫
- ・修了者 75名

■修了者の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
修了者 (対前年度増減)	330 (△148)	404 (74)	117 (△287)	173 (56)	312 (139)

（注）令和3年度は令和4年4月実施分を含む。

② 福祉用具プランナー管理指導者養成研修

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
起居移乗コース	R4.7.23(土)～29(金)	東京	19名
車椅子シーティングコース	R4.9.3(土)～9(金)	東京	13名
福祉用具工学コース	R4.11.12(土)～18(金)	東京	11名
管理・指導コース	R5.1.16(月)～22(日)	東京	11名

（2）可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

介護保険制度において可搬型階段昇降機を貸与する事業者（福祉用具専門相談員）には、メーカー等による操作講習を受講し、実際に貸与する際に可搬型階段昇降機を介護者に使用させながら操作指導を行うことが義務付けられている。

このため、国内メーカー等が加入している「全国福祉用具人材育成協会」と連携し、可搬型階段昇降機の安全指導員講習（基礎講習（協会実施）及び機種別講習（メーカー実施））を実施し、一定の水準に達した者に可搬型階段昇降機安全指導員資格証を交付した。

（安全指導員資格証交付者数累計 2,998 名）

① 基礎講習開催実績

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 104名

2) 他団体主催

- ・開催地 北海道、長野、愛知、大阪、広島、大分
- ・修了者 141名

② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証の交付実績

- ・交付者数 196名

■基礎講習修了者及び資格証交付実績の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基礎講習修了者 (対前年度増減)	227 (19)	258 (31)	99 (△159)	213 (114)	245 (32)
資格証交付実績 (対前年度増減)	167 (△30)	141 (△26)	104 (△37)	132 (28)	196 (64)

(3) リフトリーダー養成事業

施設等介護従事者の腰痛予防や要介護者の移乗動作を安心・安全に行うためのリフト等の移乗用具を適切に導入、利用するためには施設内で使用計画・利用相談・適切な使用のための研修・使用方法の指導等が重要であり、この中核となる人材としてリフトリーダーの養成研修を実施した。

また、カリキュラムの見直しおよびテキストの改訂作業を令和4年度～令和5年度に実施し、令和6年度より新カリキュラムに移行する予定である。

(修了者累計 6,209 名)

○リフトリーダー養成研修開催実績

①テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 38名

②介護実習・普及センター（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 茨城、富山、愛知、福岡、佐賀、大分
- ・修了者 172名

③他団体（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 北海道、千葉、東京、新潟、滋賀、京都、兵庫、
鳥取、岡山、広島、愛媛
- ・修了者 294名

④教育機関（国際医療福祉大学、沖縄福祉保育専門学校）

- ・開催地 東京、沖縄
- ・修了者 29名

■修了者の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
修了者 (対前年度増減)	711 (37)	750 (39)	186 (△564)	231 (45)	533 (302)

(4) 車椅子姿勢保持基礎講習

高齢者の体幹機能や座位保持機能の低下を軽減し、活動範囲の拡大と自立促進を目的とした車椅子での適切な姿勢保持の知識、技術を習得するための講習会（高齢分野、障害分野）を実施した。

(修了者累計高齢分野 96 名／障害分野 98 名)

【高齢分野】

①テクノエイド協会主催（高齢分野）

- ・開催地 東京
- ・修了者 30名

②他団体（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 東京
- ・修了者 23名

【障害分野】

①他団体（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 東京
- ・修了者 50名

■修了者の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高齢分野 (対前年度増減)	24	コロナの ため中止	20 (△4)	53 (33)
障害分野 (対前年度増減)	実施機関 なし	コロナの ため中止	48	50 (2)

(注1) 車椅子姿勢保持基礎講習の前身である「車いすフィッティングセミナー」修了者は409名である。

(注2) 車椅子姿勢保持基礎講習（高齢分野）は、修了者のうち1名は自己研鑽のため複数回受講している。

(5) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な知識及び技能の習得を目的として認定補聴器技能者の4年間にわたる養成講習を行うとともに、最終年に認定試験を実施した。

また、オンラインによる受験申請が可能となるよう新たなシステムを構築し、受験手続の簡便化を図った。

さらに、補装具費支給制度において、認定補聴器技能者が補聴器を調整する場合に加算額

が支給されることに伴い、市区町村担当者が認定補聴器技能者の勤務先等を確認することができるよう協会ホームページから情報提供した。

① 認定補聴器技能者養成講習会を次のとおり実施した。

1) 第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	R4.7.1(金) ～10.31(月)	551名	501名

2) 第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開 催 日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R5.1.16(月) ～1.17(火)	東 京	293名	284名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R5.1.23(月) ～1.24(火)	東 京	298名	298名
合 計			591名	582名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R4.11.21(月) ～11.25(金)	東 京	346名	336名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R4.12.12(月) ～12.16(金)	東 京	299名	294名
合 計			645名	630名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

4) 第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R4.9.26(月) ～9.27(火)	東 京	234名	234名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R4.9.28(水) ～9.29(木)	東 京	209名	209名
合 計			443名	443名

5) 第Ⅳ期養成課程の集合講習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数
福岡開催	R4.6.2(木)	福 岡	54名
大阪開催	R4.6.8(水)	大 阪	106名
東京開催	R4.6.30(木)	東 京	225名
合 計			385名

6) 認定補聴器技能者試験

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第30回認定補聴器 技能者試験	R4.11.2(水)	東 京	388	388	322	83.0

認定補聴器技能者試験合格者累計: 5, 899名(平成5年第1回～令和4年度第30回)

認定補聴器技能者登録者数: 4, 685名(令和5年4月1日現在)

■受講者及び受験者の推移

	第Ⅰ期養成課程 eラーニング	第Ⅰ期養成課程 スクーリング	第Ⅱ期養成課程 集 合 講 習	第Ⅲ期養成課程 実 技 実 習	第Ⅳ期養成課程 集 合 講 習	認 定 補 聴 器 技 能 者 試 験
令和2年度 (対前年度 増 減)	635 (△73)	261 (△334)	326 (△232)	336 (△98)	306 (△135)	300 (△144)
令和3年度 (対前年度 増 減)	633 (△2)	633 (372)	301 (△25)	351 (15)	358 (△52)	373 (73)
令和4年度 (対前年度 増 減)	551 (△82)	591 (△42)	645 (344)	443 (92)	385 (27)	388 (15)

② 認定補聴器技能者に対する講習を次のとおり実施した。

(資格更新のため、5年以内に指定された7課目の講習受講が必要)

区 分	課 目	開 催 日	場 所	受講者数
岡山開催	臨床医学、フィッティング、法規、障害者福祉・リハ	R4.6.5(日)	岡 山	105名
仙台開催	法規、機能・音響、障害者福祉・リハ、フィッティング	R4.6.13(月)	仙 台	104名
新潟開催	臨床医学、法規、音声・言語、フィッティング	R4.7.3(日)	新 潟	71名
福岡開催	臨床医学、接遇、機能・音響、フィッティング、法規、音声・言語、障害者福祉・リハ	R4.7.7(木) ～8(金)	福 岡	150名
札幌開催	音声・言語、接遇、機能・音響、臨床医学	R4.7.14(木)	札 幌	69名
名古屋開催	機能・音響、音声・言語、接遇、障害者福祉・リハ	R4.7.20(水)	名古屋	236名
大阪開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R4.8.9(火) ～10(水)	大 阪	253名
神奈川開催	法規、機能・音響、音声・言語、障害者福祉・リハ、フィッティング、接遇、臨床医学	R4.8.25(木) ～26(金)	神奈川	101名
東京開催	法規、機能・音響、接遇、障害者福祉・リハ、フィッティング、臨床医学、音声・言語	R4.8.30(火) ～31(水)	東 京	356名
合 計				1, 445名

3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

臨床的評価事業

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等の評価し、一定の基準を満たしているとして認証された用具についての情報を提供した。

また、福祉用具の流通等に関わる有識者、福祉用具供給事業者（福祉用具プランナー管理指導者）、医療機関従事者（理学療法士、福祉用具プランナー管理指導者）を交えて、福祉用具臨床的評価事業のあり方等について意見交換を行った。

認証マーク取得件数：29件（令和5年3月末現在）

4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等による事業

① 福祉機器開発普及等事業

障害者総合支援法に基づく完成用部品の構造や機能、効果等に関する詳細情報については、当協会においてメーカー等から任意で情報を収集し、「義肢装具等完成用部品情報提供システム」を通じて更生相談所や市町村等へ情報提供している。

令和4年度は、当協会に検討会を設置し、国立障害者リハビリテーションセンター研究所と厚生労働省を交えて、詳細情報のデータ連携の在り方について検討するとともに、詳細情報の拡充策等について検討した。

② ニーズ・シーズマッチング強化事業

自立支援機器のユーザー（障害者等）側が持つ「ニーズ」と開発側が持つ「シーズ」のマッチングを目的とした「ニーズ・シーズマッチング交流会 2022」を開催した。これにより試作機等を用いて想定するユーザーと開発者が膝を交えて意見交換できる場を設け、障害当事者のニーズを適切に踏まえた実用的な機器が開発されるよう効果的なモニター評価を行う機会等を創出した。

令和4年度は、Web開催（4ヶ月間）及び東京と大阪にて会場開催を実施した。また、協会ホームページには「Web交流プラットフォーム」を構築し、Web上でのマッチングを可能にするとともに、セミナーや講演等の内容については、常時配信や定期配信を行った。さらに2年ぶりとなるマッチングの地域交流会を新潟及び下関、鹿児島にて開催した。

【Web開催】

- ・開催日 令和4年10月1日（土）～令和5年1月31日（火）
- ・場所 テクノエイド協会 Web交流プラットフォーム内
- ・出展参加 83企業・団体
- ・トップページアクセス数 12,951回

【大阪会場】

- ・開催日 令和4年11月28日（月）～30日（水）
- ・場所 OMM（2階展示Aホール）
- ・出展参加 60企業・団体
- ・事前登録者 139名
- ・当日来場者 338名

【東京会場】

- ・開催日 令和4年12月14日（水）～12月16日（金）
- ・場所 東京都立産業貿易センター浜松町館（2階展示室）
- ・出展参加 71企業・団体
- ・事前登録者 250名
- ・当日来場者 419名

③ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器等」）について、開発・普及の支援と開発企業や介護施設に必要な情報提供等を行った。また、相談窓口を設置し、行政、関係団体、一般の方等の幅広い問合せに対応する体制を整えた。

令和4年度は、モニター調査や実証試験に協力いただける介護施設等の確保に積極的に取り組み、その登録施設は厚生労働省が行う介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム等においても活用された。また、介護ロボット地域フォーラムは全国6カ所で各協力機関が機器の展示や試用貸出の相談受付、シンポジウムの開催等、地域の実情やニーズに応じた独自の企画を立案し主体的にイベントを実施した。

また、令和4年度は、新たに介護機器等の安全利用を推進するための事業を行った。本事業で実施した主な事業内容は以下のとおりである。

1）モニター調査等の実施

高齢者介護の現場において、真に必要とされる介護機器等の開発に資するため、開発早期段階の介護機器等について意見交換を行う「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、実機による試用を行い専門職が助言する「試作機器へのアドバイス支援事業」及び、実際の介護現場において使い勝手の確認等を行う「モニター調査事業」を実施した。

2）介護ロボット全国フォーラム

国民の誰もが介護ロボットについて必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、「介護ロボット全国フォーラム」を開催した。

新型コロナウイルス感染症防止のためWEB開催としたが、シンポジウムによる介護機器等の最新情報の発信のほか、出展予定だった機器についてパンフレットを作成し情報提供を行った。

3) 介護ロボット活用ミーティング

介護職員による介護機器の効果的な活用を促すことを目的に「介護ロボット活用ミーティング」を開催した。

発表者は有識者の他、介護ロボットの開発・実証フィールドに登録している施設からも希望者を募り、10施設にご発表いただいた。

4) 介護機器等の実態調査

都道府県の地域医療介護総合確保基金によって実施されている「介護ロボットの導入支援事業」等の実施状況についての取りまとめを行った。

また、開発・導入に係る助成制度について全国調査を行い、その結果を都道府県別に閲覧できるよう集約した。

5) 介護機器等の安全利用に関する取組

令和3年度の介護報酬改定に関する審議報告において「福祉用具の事故等に関して、再発防止の観点から、市町村等においてどのような内容の情報が収集されているか実態把握を行うとともに、関係省庁及び関係団体が連携しつつ、事故が起きる原因等の分析や情報提供の方法等について、今後、更なる効果的な取組を検討すべき。」と提言された。

こうした背景を踏まえ、本取組みでは、福祉用具等の利用に伴う安全性等の確保をより一層推進するため、「事故やヒヤリハットの情報」を効果的に活用するための検討委員会を設立し、必要な整理を行うとともに、事故等の報告及び関係機関等への発信を行った。

具体的には、実際に発生した事故情報等の要因分析を行い、重症事故等を未然に防ぐための事例を作成し、冊子の配布及びホームページから情報発信した。

6) 冊子の作成

モニター調査等の実施結果を取りまとめた「福祉用具・介護ロボットの開発と普及」、介護現場での導入事例を収録した「介護ロボット導入活用事例集」、全国の相談窓口にて試用貸出を受付ける場合に活用する「介護ロボットの試用貸出リスト」などの冊子を作成し関係機関等へ配布した。

④ 福祉用具貸与価格適正化推進事業

介護保険における福祉用具貸与価格の適正化を推進するため関係機関と連携を図りながら、価格情報の把握及び公表、相談窓口の設置等を行った。

福祉用具貸与サービスの給付費請求時に必要とされる商品コードについては、毎月1日に公表するとともに、貸与価格の上限については、令和4年4月、7月、10月及び令和5年1月の計4回、厚生労働省及び国保中央会とデータ連携を行い、協会ホームページから情報提供した。

（２）消費生活協同組合の助成金による事業

○消費生活協同組合助成金事業

上肢および下肢装具使用者の自立生活、職業訓練等に必要な義肢・装具の理解を深め、特に在宅で見られる高齢者の義肢・装具適合不良の問題点等について、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員等と義肢装具士が連携し、改善するための情報を提供した。

併せてeラーニングコンテンツ用の教材を作成したので、今後配信に向けての準備に取り掛かる予定である。

冊 子 名 福祉用具シリーズ Vol. 27 「義肢装具使用者の生活を支援するために
～ 介護職のための義肢装具の基礎知識 ～」

印刷部数 1, 200部

主な配布先 義肢装具製作所、福祉用具専門相談員、関係機関 他

5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による指定試験機関として、第36回義肢装具士国家試験を実施した。

- ・試験日 令和5年2月24日（金）
- ・試験地 東京
- ・合格発表 令和5年3月24日（金）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
200人	162人	81.0%

第1回～第36回までの累積合格者数は 6,173 名

■受験者、合格者及び合格率の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受験者数 (対前年度増減)	263 (31)	208 (△55)	227 (19)	181 (△46)	200 (19)
合格者数 (対前年度増減)	235 (37)	164 (△71)	165 (1)	124 (△41)	162 (38)
合格率	89.4%	78.8%	72.7%	68.5%	81.0%

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の基準に適合していることが、書類審査と実地調査によって確認された補聴器販売店を「認定補聴器専門店」として認定するとともに、5年毎の更新認定を受けた店舗と合わせて認定補聴器専門店に関する情報を協会ホームページから提供した。

令和4年度新規認定	49店
令和4年度更新認定	124店
令和5年度認定店（R5.4.1）	985店

■新規認定、更新認定及び認定店の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規認定 (対前年度増減)	38 (0)	92 (54)	0 (△92)	95 (95)	49 (△46)
更新認定 (対前年度増減)	77 (△1)	238 (161)	148 (△90)	278 (130)	124 (△154)
認定店 (対前年度増減)	806 (29)	879 (73)	879 (0)	951 (72)	985 (34)

7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、福祉用具関連書籍の販売等を行っている。

書 籍 名	販売部数
福祉用具支援論	110
ICFの視点に基づく自立生活支援の福祉用具	205
計	315

8. その他

（1）福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

○「福祉用具」関係者新年交流会の開催

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止

（2）広報活動

- ① 「福祉用具の日」推進事業の一環として実施する「福祉用具川柳コンテスト」にかかるポスター等の配布等を行った。
- ② 国際福祉機器展への出展
国際福祉機器展 2022 に出展し、福祉用具、国民の聞こえの保障について広報を行った。
- ③ 情報誌「アシスティブ・プロダクツ」については、予算削減のため発行を見合わせた。

(3) 海外調査の企画支援

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(4) 福祉用具の規格化

I S O (国際標準化機構)に関する国内審議団体としての業務及びJ I S (日本産業規格)の原案作成団体としての業務は他団体(J A S P A (日本福祉用具・生活支援用具協会))に業務移管したため、令和4年度事業は行わなかった。

Ⅱ. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回 次	主 な 議 題 等	出 席 等
令和4年5月24日	第1回理事会	・決議事項 ①令和3年度事業報告及び決算 ②第1回評議員会の招集 ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について	決議に必要な出席理事の数8名(出席13名、欠席1名)、監事出席2名
令和4年6月21日	第1回評議員会	・決議事項 ①令和3年度事業報告及び決算 ②評議員の選任 ③役員の選任 ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席3名)
令和4年6月21日	第2回理事会	・決議事項 - 常務理事の選定	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないこと意思表示を得た
令和4年9月15日	第3回理事会	・決議事項 - 第2回評議員会の招集	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないこと意思表示を得た
令和4年10月25日	第2回評議員会	・決議事項 - 評議員の選任	議題について、評議員14名全員の書面による同意する旨の意思表示を得た
令和5年1月27日	第4回理事会	・決議事項 - 第3回評議員会の招集	議題について、理事14名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないこと意思表示を得た

令和5年2月21日	第5回理事会	・決議事項 ①令和4年度事業計画及び予算の変更 ②令和5年度事業計画及び予算 ③諸規程の改正 ④事務局長の任免 ・報告事項 ①職務の執行状況について ②協会で実施する研修会等におけるハラスメント防止規程の制定等について	決議に必要な出席理事の数8名(出席13名、欠席2名)、監事出席2名
令和5年2月21日	第3回評議員会	・決議事項 - 諸規程の改正 ・報告事項 ①令和4年度事業計画及び予算の変更について ②令和5年度事業計画及び予算について ③事務局長の任免について ④職務の執行状況について ⑤協会で実施する研修会等におけるハラスメント防止規程の制定等について	決議に必要な出席評議員の数8名(出席14名、欠席1名)

Ⅲ. 評議員・役員の異動

1. 令和4年6月21日 第1回評議員会

(1) 評議員の辞任・就任

氏 名	摘 要	所 属 等
秋 葉 都 子	辞 任	(一社) 日本ユニットケア推進センター 専務理事
伊 藤 利 之	辞 任	横浜市リハビリテーション事業団 顧問
中 山 辰 巳	就 任	(社福) 青森社会福祉振興団 理事長

(2) 役員の辞任・就任

氏 名	摘 要	所 属 等
長 田 信 一	辞 任	(公財) テクノエイド協会 常務理事
松 永 紀 之	辞 任	(一社) 日本車椅子シーティング協会 前代表理事
黒 岩 嘉 弘	就 任	前(社福) 日本肢体不自由児協会 常務理事
松 永 圭 司	就 任	(一社) 日本車椅子シーティング協会 代表理事
牧 野 和 子	就 任	(一社) 日本介護支援専門員協会 副会長

2. 令和4年6月21日 第2回理事会

常務理事の選定

役 職 名	氏 名	摘 要
常務理事	黒 岩 嘉 弘	就 任

IV. 賛助会員の現況

1. 会員の構成（令和5年3月末現在）

法人会員：67団体（86口） 個人会員：7名（7口）

【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	44	59.5%
福祉用具供給事業者	2	2.7%
関係団体	11	14.8%
その他の企業	10	13.5%
個人	7	9.5%
計	74	100%

2. 入会及び退会

○入会（法人3団体、個人3名）

○退会（法人2団体、個人2名）

V. 委員会等の開催状況（テクノエイド協会が主催等を行うもの）

開催日	行事等
4月9日	福祉用具プランナー認定講習（都財団）～15日
4月13日	認定補聴器専門店申請事前説明会
4月25日	第1回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
5月9日	監事監査
5月19日	認定補聴器専門店書類審査・実地調査委員会議
5月24日	第1回理事会
5月25日	第2回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
5月28日	福祉用具プランナー試験委員会
6月2日	認定補聴器技能者第Ⅳ期養成課程講習会（福岡開催）
6月5日	認定補聴器技能者に対する講習会（岡山開催）
6月6日	第2回役員候補者選考委員会
6月8日	認定補聴器技能者第Ⅳ期養成課程講習会（大阪開催）
6月13日	認定補聴器技能者に対する講習会（仙台開催）
6月17日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習 介護ロボットメーカー連絡会議（主婦会館）
6月20日	義肢装具士国家試験方針決定・出題依頼会議
6月21日	第1回評議員会 第2回理事会
6月23日	第1回福祉用具啓発普及小冊子作成委員会
6月24日	第3回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月29日	第1回福祉用具等の安全利用に関する検討委員会
6月30日	認定補聴器技能者第Ⅳ期養成課程講習会（東京開催）
7月2日	福祉用具プランナー試験委員会
7月3日	認定補聴器技能者に対する講習会（新潟開催）
7月7日	認定補聴器技能者に対する講習会（福岡開催）～8日
7月11日	ニーズ・シーズマッチング交流会 出展企業等説明会
7月12日	福祉用具等の安全利用に関する事例検討部会
7月14日	認定補聴器技能者に対する講習会（札幌開催）
7月20日	認定補聴器技能者に対する講習会（名古屋開催）
7月21日	ニーズ・シーズマッチング交流会第1回企画運営委員会

7月23日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修（起居移乗コース）～29日
7月25日	第4回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
8月3日	第2回福祉用具啓発普及小冊子作成委員会
8月5日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習
8月9日	第1回介護ロボット等モニター調査検討委員会 認定補聴器技能者に対する講習会（大阪開催）～10日
8月16日	第1回完成用部品DBシステムの在り方に関する検討会
8月19日	補聴器技能者試験部会（問題選定会議）
8月25日	第5回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会 認定補聴器技能者に対する講習会（川崎開催）～26日
8月30日	認定補聴器技能者に対する講習会（東京開催）～31日
9月3日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修（車椅子シーティングコース）～9日
9月12日	義肢装具士国家試験問題選定会議
9月16日	ATAサテライト・新潟（新潟市）
9月17日	車椅子姿勢保持基礎講習（会）～18日
9月20日	ATAサテライト・鹿児島～21日
9月21日	補聴器技能者試験部会（問題校正会議）
9月26日	第6回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会 認定補聴器技能者第Ⅲ期講習会（都立産業技術センター台東館）～29日
10月11日	第1回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会 福祉用具プランナー試験委員会 問題審査・合否判定会議
10月17日	義肢装具士国家試験問題決定会議
10月21日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習
10月25日	第7回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
10月29日	第3回福祉用具啓発普及小冊子作成委員会
11月2日	認定補聴器技能者試験（TFTホール）
11月7日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月12日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修（福祉用具工学コース）～18日
11月22日	第3回福祉用具等の事故及びヒヤリハット情報事例検討部会
11月25日	第8回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
11月28日	ニーズ・シーズマッチング交流会（大阪）～30日
12月2日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習
12月6日	第2回完成用部品データベースシステムの在り方に関する検討会
12月7日	義肢装具士国家試験問題校正会議
12月10日	車椅子姿勢保持基礎講習（会）～11日

12月12日	認定補聴器技能者第Ⅱ期講習会日程②（TFTホール）～16日
12月14日	ニーズ・シーズマッチング交流会（東京）～16日
12月20日	第2回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会
12月22日	第9回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
12月23日	補聴器技能者試験部会（可否判定会議）
1月13日	義肢装具士国家試験問題最終校正会議
1月16日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修（管理・指導コース）～22日 認定補聴器技能者第Ⅰ期講習会日程①（TFTホール）～17日
1月18日	補聴器技能者養成部会（ベルサール飯田橋駅前）
1月19日	完成用部品DDシステムのあり方に関する合同ヒアリング①
1月20日	完成用部品DDシステムのあり方に関する合同ヒアリング②
1月23日	認定補聴器技能者第Ⅰ期講習会日程②（TFTホール）～24日
1月25日	第10回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
1月27日	介護ロボット全国フォーラム（TOC有明） 第4回福祉用具啓発普及小冊子作成委員会
1月28日	認定補聴器専門店実地調査委員会議 認定補聴器専門店審査部会
2月4日	補聴器協議会
2月8日	リフトリーダー養成研修～9日
2月11日	福祉用具プランナー認定講習集合研修（都財団）～17日
2月20日	第2回介護ロボット等モニター調査検討委員会
2月21日	第5回理事会・第3回評議員会
2月22日	第11回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
2月24日	第36回義肢装具士国家試験（TFTホール） 福祉用具等の安全利用に関する検討委員会
3月3日	第2回ニーズ・シーズマッチング交流会 企画運営委員会
3月8日	完成用部品データベースシステムの在り方に関する検討 第3回検討会
3月9日	第3回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会
3月13日	義肢装具士国家試験問題審査・可否判定会議
3月17日	福祉用具不適合事例検討会
3月24日	第36回義肢装具士国家試験合格発表
3月30日	認定補聴器専門店申請事務事前説明会
3月27日	第12回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
3月30日	認定補聴器専門店申請事務事前説明会